

Contents

003 ▶ 監修のことば

006 ▶	<small>capture</small>	咬合の役割	01	咬合の果たす役割と影響の大きさを知ろう
014 ▶	<small>capture</small>	筋の触診	02	筋の評価は触診でこうやる 20秒でできる的確な筋触診法を修得しよう
024 ▶	<small>capture</small>	顎関節の診断	03	顎関節は触診でこう診断する チェアーサイドで行う病態ごとの簡便な臨床診断のポイント
036 ▶	<small>capture</small>	咬合採得の迷い	04	咬合採得で迷っていませんか 下顎安静位の安定性と中心位への適正な誘導
046 ▶	<small>capture</small>	CrBrの咬合①	05	クラウン・ブリッジ（有歯顎）の咬合ポイント① 咬頭嵌合位（中心咬合位）の接触関係はこれが有利 その違いと効果を熟知して臨床に生かす！
058 ▶	<small>capture</small>	CrBrの咬合②	06	クラウン・ブリッジ（有歯顎）の咬合ポイント② アンテリアガイダンスのこれが適正な構成基準
066 ▶	<small>capture</small>	CrBrの咬合③	07	クラウン・ブリッジ（有歯顎）の咬合ポイント③ 側方運動時に生じる臼歯接触への対応はこれが決め手 咬合調整を行うべきか否かの診断基準もここにある
076 ▶	<small>capture</small>	有床義歯の咬合	08	有床義歯の咬合はどうしていますか 機能を高める簡便で的確な咬合構成法
086 ▶	<small>capture</small>	インプラントの咬合	09	インプラント症例の安全な設定と咬合構成とは 的確な診断用ステントとサージカルガイド、そしてロードコントロールを
098 ▶	<small>capture</small>	1分間の Magic	10	フェイスボウトランスファーが咬合へ及ぼす絶大な効果を知る
108 ▶	<small>capture</small>	咬合器を知る	11	咬合器のここがわかれば使いこなせる 安全な側方ガイドと作業側側方顎路角調節機構の必要性
120 ▶	<small>capture</small>	顎関節症①	12	顎関節症①：病態ごとの効果的なマニピュレーションとは 関節円板の前方転位と後方転位にはこう対応する
136 ▶	<small>capture</small>	顎関節症②	13	顎関節症②：奏功するスプリントはここがポイント ディコンプレッションとディプログラミングが決め手